

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月20日		記入者		内線	749 - 2214
部 名	土木部	課 名	南土木事務所		課長名	八木博
事務事業名	道路維持補修事業					
予算上の事務事業名	道路維持補修工事（箇所指定）南土木事務所分					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32320		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政 策 名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第3節 円滑な道路交通の確保					事業開始年度
施 策 名	第2施策 道路管理の充実					昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	道路法第42条（道路の維持又は修繕）					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	▼					
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的（何のために行うのかまたはもたらしたい成果）</p> <p>道路機能を良好な状態に保ち、効率的且つ合理的な維持管理に努め、安心して一般交通及び市民が利用することに支障がないよう補修し、快適な生活環境を保持する。</p> <p>(2) 対象（誰、何）</p> <p>不特定多数</p> <p>(3) 平成16年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。</p> <p>市道舗装道補修工事（箇所指定） 7箇所7路線 総事業費C = 63,622</p>					
6 関連・類似事業や他市の状況	他市においても同様である。					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事 業 費	128,794	88,995	63,622	99,600	120,000	
一般財源	128,794	88,995	63,622	99,600	120,000	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源						
人件費の合計	16,370	9,848	13,890	15,875	23,812	
事業コスト合計(a)	145,164	98,843	77,512	115,475	143,812	
8 事業効率・・・（複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業）						
主たる事業名	道路維持補修事業			対象名称 (単位)	工事（箇所数）	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	145,164	98,843	77,512	115,475	143,812	
対象数	8	5	7	8	12	
単位あたり経費(円)	18,145,500	19,768,600	11,073,143	14,434,375	11,984,333	
前年度比		1.09	0.56	1.30	0.83	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	整備箇所（箇所数）	指標式と指標の説明		要望整備箇所（箇所数）	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	8.0	5.0	7.0		
目標	11.0	7.0	8.0	8.0	12.0
目標達成度	0.73	0.71	0.88		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	整備箇所（箇所数）	指標式と指標の説明		要望整備箇所（箇所数）	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	8.0	5.0	7.0		
目標	11.0	7.0	8.0	8.0	12.0
目標達成度	72.7	71.4	87.5		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		舗装の打替え及び排水構造物の整備、補修等により、振動や雨水滞水を解消し、安全でゆとりのある市民生活を確保するために重要な事業と考えられる。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
要望の受けから整備までを早期に対応することで事業効果の向上が期待できる。			地元住民の協力が必要。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		効果的な管理に取り組む。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			